



## 記者発表資料

「R3国道16号町田立体検査路設置工事」の発注手続きを行います。併せて、『公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）』、『見積活用方式』、『間接工事費実績変更方式』、『余裕期間制度（任意着手方式）』、『難工事指定』を試行します。

工事発注において入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きのとりやめが予測される工事について、不調不落対策を試行しています。

今回発注する「R3国道16号町田立体検査路設置工事」については、『公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）』、『見積活用方式』、『間接工事費実績変更方式』、『余裕期間制度（任意着手方式）』、『難工事指定』を試行します。

### ①『公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）』

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（**参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。**）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

### ②『見積活用方式』

本工事は、国道16号の市街地部であり、非常に交通量が多い国道での施工となるため、作業効率が悪化することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する『見積活用方式』を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

### ③『間接工事費実績変更方式』

「安全費」および「運搬費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）を変更する『間接工事費実績変更方式』を試行します。

### ④『余裕期間制度（任意着手方式）』

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

### ⑤『難工事指定』

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする『難工事指定』を採用します。

## 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、  
神奈川県政記者クラブ、川崎記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

## 問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所 電話044-888-6411（代表）  
副所長 菊池 正彦（きくち まさひこ）  
工務課長 高坂 祐一（こうさか ゆういち）

## 《 工事概要 》

- (1) 工 事 名：R3国道16号町田立体検査路設置工事
- (2) 工事場所：東京都町田市鶴間地先
- (3) 工 期：工事の始期から272日間  
(但し、令和4年4月1日までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容（概要）： 橋梁付属物工 1式（検査路工 44.1t）

## 《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

## 《見積活用方式》

### ○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、「橋梁付属物工（架設足場、板張防護、登り栈橋）」

### ○見積の提出を求める理由

本工事は、東京都内の市街地部における自動車交通量の多い国道16号の上下線で施工します。

施工にあたっては、夜間作業で交通規制を実施し限られた狭隘な作業ヤード内での施工となり、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する『見積活用方式』を試行します。

## 《間接工事費実績変更方式》

### ○実績により変更を行う工種

- ・ 共通仮設費（率分）のうち、「安全費」及び「運搬費」

### ○実績により変更を行う理由

本工事は、東京都内の市街地部における自動車交通量の多い国道16号の上下線で施工します。

供用中の国道16号における施工のため、通過交通へ配慮した安全施設等の設置や夜間交通規制時においては、交通量の多い交差点に隣接しており、警察協議等により安全施設等の設置に要する費用が多額となることが想定されます。

また、施工箇所が狭隘な箇所であることから、作業スペースの確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となることが想定されます。

このため、「安全費」及び「運搬費」において標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）について変更する『間接工事費実績変更方式』を試行します。

### 《余裕期間制度》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約日から工事着手期限日（令和4年4月1日）までの期間において、受注者が任意に工事着手日を選定できます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

### 《難工事指定》

本工事は、施工箇所が上空制限のある箇所であり、作業スペースが狭隘であることから厳しい施工条件であるため、『難工事指定』します。

『難工事指定』された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

### 《スケジュール》

○入札公告、入札説明書、見積依頼書 交付：令和4年1月28日（金）

○技術資料等、見積書 提出期限：令和4年2月14日（月）

○入札書・工事費内訳書 提出期限：令和4年3月10日（木）

○開 札 日：令和4年3月15日（火）

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示  
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制  
評価点(30点)÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上